

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	S E S 藤枝みなみ校		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 10日		～ 令和7年 11月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 10日		～ 令和7年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動を組み合わせ取り組むことで、子ども達の頑張りや喜びや成長を共有し、保護者様にもお伝えできている。	集団活動はチャレンジできる活動、失敗してもいい、やってみようと思いチャレンジする力を引き出せるように取り組んでいます。集団でも個別に一人一人の目標を決め、スモールステップを実感でき自信がつくように、細やかな支援を心がけています。活動に対する取り組みなどを保護者様に伝えています。	楽しい! やってみたい! と思えるような活動の取り組み。子ども達のやる気やできた時の喜びをたくさん感じられるようにしていきます。また、その気持ちや成長を感じ取っていただけるようにお伝えしていきます。
2	長期休みや学校休業日は、卒業後を考えて様々な社会体験を行っている。	子ども達が卒業後も社会参加ができるように、地域のイベントに積極的に参加しています。卒業後の進路に対して、それぞれの年齢に合わせて目標を定めて支援しています。	卒業後のことを考え、様々な体験をしていけるように考えていきたい。それぞれの目標を定めて個別支援計画に落とし子も支援をしていきたい。
3	家では取り掛かりが難しいことを、みなみ校で取り組んでみて保護者様にお伝えをして支援方法や助言ができるようにしていきます。	本人の困り感、保護者様の困りごとに耳を傾け、まずは、やってみよう! と声をかけ、支援方法を考えしています。一人一人それぞれに合った支援方法を考え伝えるようにしています。	できたことをよりできるように、継続できるように繰り返しチャレンジできるようにしていきます。ご家庭でできる取り組みも一緒に考えていきます。困った時には相談してもらえよう関係を作っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会に対しては賛否両論あると思いますが、子どもを介しての保護者同士のつながりは作っていききたいと思います。保護者様が学べる研修などの案内が不十分だった。	保護者様が参加できる活動が少ない。事業者内でのパレンとトレーニングが実施できていなかった。個別のアドバイスや助言を面談でしか細かく聞けていなかった。	今年度も行ったが、年に一回の夏祭りを保護者様に参加していただけるようにしていきたい。その際、保護者同士の交流ができるようにしていきたい。子どもの姿を見てもらえる機会を作ってきたい。保護者が学べる研修などを積極的にお伝えしていきます。
2	事業所でのマニュアルが保護者様に伝えきれていなかった。	全てのマニュアル(事故防止、緊急時対応、防犯、感染症)を策定してありますが、周知できていなかった。防災訓練はお便りでお知らせしているが、周知まではいかなかった。	事業所でのマニュアルは、それぞれで策定されていますが、周知できていなかったため、お問い合わせがあった際はご説明させていただき、お伝えする機会を作っていきます。防災訓練は毎月実施しているため、総合防災訓練を行った際は、保護者様にお伝えしていきます。みなみ校開所以来事故は起こっていません。今後も子ども達が安全に活動できるようにしていきます。
3	職員配置は満たしているが、この人数で十分でないと感じている。	職員不足は仕事に対して理解されていないことが多く、専門的スキルが必要なこと。	外部研修や事業所内でのPDCAサイクルを活用し、職員同士の話し合いの場をたくさん作り、職員のスキルアップを目指していきます。この仕事が魅力的に感じてもらえるように努力していきます。